



Kyuna Christian Fellowship

P.O.Box.772-00621 Nairobi Kenya

Tel: 254-734155829/710334525

E-mail: koinonia@kcf.or.ke

コイノニア教育センター

2012年2月

ニュースレターNo. 22

コイノニアの10年目が始まりました。

レッドヒルの新しい校舎に引っ越して2年目です。

昨年は急な引っ越で、毎年受け入れている4歳児の新入園児を受け入れることができずませんでした。今年は4歳児、5歳児を一緒に受け入れることに決め、現在11名が入園し、1月現在84名の在籍でコイノニア教育センター2012年が始まりました。

「ビフォー」

コイノニア・キューナキャンパス

新入園児たちにとって、毎日レッドヒルへのバス通学は難しいこと、また新しい家族との関係を築くためには、できるだけ子どもたちの住むキバガレ・スラムに近いところに園舎を持つことが必要と考え、キューナ幼稚園の裏の敷地に新しい教室を作りました。子どもたちは裏口から登園してきます。

「アフター」



またコイノニアグッズを作る女性たちの自立のプロジェクトも、教室と並ぶ新しい部屋で新年を開始しました。



しかしこの新しい校舎で子どもたちが過ごせたのはたった2週間でした。隣の家主が、「トタンの家が隣に見えることはまるでスラムにいるようなイメージになり、外国人がこの家を借りなくなる。」という理由で、この建物は不法建築であるとしてナイロビ市に訴えました。この地域は高級住宅地であって、トタンの家のような半永久的な建物を建てることは認められていません。しかし、隣との合意があれば許可すると市

から言われて建築を始めました。「できるだけ早いうちに隣との境に高い塀を作るので少し時間の猶予を欲しい」と頼みましたが、相手は強硬に裁判をして撤去させるとナイロビ市に申し立てました。裁判に費やす無駄な時間と労力、強制撤去となることは多くの痛手を受けることになるとの判断から、自主的に新しい建物を解体しました。

「ビフォー」

子どもたちの教室はこれまで、幼稚園の家具を作っていた作業場を改造し、婦人の洋裁プロジェクトは市橋家の一室に移動しました。どちらも当初の部屋の半分の広さですが、工夫しつつ日々の業を続けています。子どもたちはそれでも、コイノニアが大好きで英語でのあいさつを覚え、手にしたことのないおもちゃで遊び、楽しい毎日を送っています。

婦人たちのプロジェクトも、ケニヤ内外から注文をいただき、婦人たちは忙しく働いています。



保護者会

2月10日、今年初めての保護者会を行いました。レッドヒルキャンパスに在籍する生徒73名のうち欠席は4名だけでした。保護者達は遠くからバスをチャーターして出席しました。仕事を休み、バス代を払い参加した保護者達の熱意を強く感じました。この人たちと共に、私たちは子どもたちの教育をしていることを改めて強く感じ、ここに「コイノニア」という主にある強い交わりがあることを感謝しました。

スクールバス

コイノニアの子どもたちをキバガレ・スラムからレッドヒルまで運ぶためにバスが必要です。亀山ライオンズクラブからの支援金120万円と、ピースチャイルド、キューナ教会の募金によって、160万円の頭金を支払い、37人乗りマイクロ・バスの組み立てが始まりました。残金は銀行からのローンを予定していましたが、思いがけない献金が与えられ、残り60万円で全額支払いができる所まで来ました。コイノニアの親たちにも協力を呼びかけ、教会としても何とかローンなしで支払いを完了できるよう頑張っています。

スラムの火事

1月23日午前1時半に、キバガレ・スラムの中で火事がありました。真夜中に男女が喧嘩をし、料理をしていた石油コンロがひっくり返って出火しました。スラムの家は木とトタン、段ボールなどでできています。また現在は乾季で空気も乾燥しているので、火のまわりはとても速かったようです。荷物を持ち出す暇もなく、やっと子どもと逃げた家族。火の手が回る前に壊された家。30メートル四方の範囲で約30件が跡形もなく消えました。



コイノニアに通う子どもの2つの家族の家も全焼しました。

残念なことに火事場泥棒がたくさんいました。家から物を必死に持ち出しても、出した先から盗まれる。持ち出さなければ燃えてしまう。結果はどちらも自分の手元には残らないということです。消火に当たった近所の人の家からも物が無くなっていました。

キューナ教会とキューナ幼稚園はその日から支援物資を集め、この2つの家族と他の20家族に生活用品や食料を支給しました。被害にあった子どもたちは翌日から学校へ来ています。制服も燃えてしまったので、学校から新しい制服をもらいました。学校ではいつもと変わらない笑顔を見せていますが、燃え広がる火を目の前にした子どもたちの心が癒えるには時間がかかるでしょう。「それでも人生にイエスと言おう」というコイノニアのモットーがこの時も子どもたちに力を与えてくれると信じています。

コイノニアの約束の地を目指す旅は続いています。現在の場所も賃貸です。定着できる土地を現在も探しています。ナイロビ市内、ナイロビ郊外の土地の高騰は未だに止まる気配がありません。神さまがコイノニアにとってもっともよい土地を用意してくださると信じています。

***コイノニアの運営費のため、土地購入のために献金をお願いいたします。**

日本での支援窓口

郵便局振替口座	コイノニア・アカデミー基金	00160-6-373439
	会計担当：浜井和美	TEL：03-5951-8236
	市橋隆雄、さら宣教師を支える会	00180-7-585668
	会計担当：高倉もも代	TEL：03-3961-9685

コイノニア教育センター連絡先：E-mail ichihashi@kcf.or.ke HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>

現地責任者 市橋隆雄、さら Tel：254-020-4182756, 254-733-750469, 254-733-608790